

かしわ 単語帳

いまの柏原を知るためのキーワードを
毎回解説します。

しょくむほうき【職務放棄】

市民の税金から給料を
貰っている者が絶対に
やってはいけないこと。

どこかの市長さん、委員会でたしなめられてブツン。部屋を出て行ったきり戻って来なかった。居合わせた一同、あきれのやらないや。子供じゃないんだから、ちゃんとお仕事してね。

岡本市政 変えるしかない!

最後は有限実行で締めくくって!

「かしわ見張り番」10月号の図解で、岡本市政の疑惑がよくわかりました。本会議では、はまうら議員が「中司氏が二審も有罪だったら、お辞めになるんですか」と言った時、確かに岡本市長は「すぐにでも辞めてやる!」と叫びを切られたと聞いています。ぜひ、最後は有限実行で締めくくってください。(60代・女性)

血の通わない詐欺まがいの市政

岡本市長は「就任してから5年で支出を300億円削減した」と言っているが、これは市民を欺く虚言。前市長の頃から比べ税率が30%近く減っているのだから予算規模が小さくなるのは当然。これを、さも自分の手柄のように市民に説明するのは、詐欺まがいだ。柏原病院の厳しい状況も、市民に正直に説明していない。また予算削減の名目で、公共事業の入札には最低落札価格が示され、実質的な価格競争効果はない。それなら、せめて地元業者を優先すべきだ。岡本市政には血の通った温かさが感じられない。(50代・男性)

クリスマスケーキ
予約受付中

Dessert Cafe
Sacha
tel&fax 072-977-1515



岡本市政末期症状

キレて委員会をすっぽかし

市民から「無責任にもほどがある」
憤りの声

十一月四日に開かれた柏原市の決算特別委員会で、議員の発言に腹を立てた岡本市長が委員会室を出て行き、そのまま無断で一日中戻ってこなかった。市民から付託された重要な職務を私情で簡単に放棄してしまう岡本市長に市長の資質はない。

いま国政では、予算委員会での激しい与野党の論戦が繰り返されているが、もし、野党の追及に首相が腹を立てて委員会室を出て行ったまま戻って来なかったらどうなるだろうか。あり得ないことだが、もしもこのようなことが起きたら首相は即刻職を辞さざるを得ない。一國の舵を取り、国民を守るべきトップとしてあまりに不適格だからだ。

ところが、この信じられない事態が柏原市の決算特別委員会でも起こった。十時から始まった一日目の委員会が一時ほど経った頃、乾議員が市長に要望事項を述べた。その内容は、昨年三月に柏原市議会が流会した際、「広報かしわ」四月号では行政側の主張のみを展開、経緯を知らない市民が読むと一方的に議会側が悪いように読めるので、広報の記

事はより公平なものにしてほしいというものであった。はまうら議員にたしなめられ、その要望に関連し、はまうら佳子議員が「自治体の広報はよくできているが、一ページ目はたいがい首長の挨拶だから読まなくていい」という明治大学の中野章教授の言葉を引用し、「広報かしわ」一ページ目「市長の挨拶や宣伝に終わらないようお願いします」と発言したところ、岡本市長は「どかが宣伝じや、市長に対する侮辱だ!」と猛烈にわめき散らし出した。それに対して、はまうら議員が「七万五千柏原市民

の長なら、品位と品格を保持できない」とたしなめ、橋本満夫議員ら他の議員も同調したため、岡本市長は真っ赤になって部屋を出て行き、広報を数十冊持つて戻って来たら置き、「これを見たらわかるよ!」と捨てぜりふを残して再び退出。この日、岡本市長は五時に委員会が閉会となった。

ついに戻って来なかった。市民が見えぬ市長の実態。これには、出席していた議員だけでなく、市の職員も唖然としていた。記事にするのも恥ずかしいドタバタ劇だが、市民が傍聴することのできない委員会、このような愚かしい実態が

繰り返されているのだ。事実を知った一部市民からは「無責任にもほどがある」と憤りの声がある。柏原市は、不正体質からの脱却、深刻な財政危機などの緊急の問題を抱えている。いずれも、対応を誤ると市民生活に直接に悪影響が降りかかる。このような末期症状を呈する市長に、柏原の将来を託して能く任せていいはずはない。

おこなう演説や挨拶は、実に弁舌巧みで素晴らしい。しかし本紙でもたびたび報道している通り、議会や委員会では、自分を批判する発言などに気がいらなくなることがあると感情的になつて暴言を吐く。周りが心配しているのは、それが以前よりひどくなったように感じるからだ。昨年末から今年にかけて公務を休まれることもあれば、脳の病との噂も聞く。暴言を吐くだけでなく、委員会でもたしなめられると怒って出ていってしまうというのでは、まるで子供の行動だ。もしかしらば、ストレスゆえの奇行かもしれない。市長の心身の健康状態は確かに気がかりだ。課題が山積する柏原市。市長の激務が病にさわる。市ならば、その職をお譲りになるのが一番だ。季節柄、どうぞご自愛をお願いします。

☆はまうら佳子の元気になるコラム

何年前の話ですが、私の知人に一代で事業に成功し、とても立派なお家を建てた方がおられました。外から見ると門構えも植込みも、実に見事な日本家屋でした。

ある時、そのお嫁さんがうちに来られ、うちの台所が立派で使いやすいと感心されるのです。話を聞くと、そのお父さんは、なかなかのワンマン。ほとんど女性の意見も聞かず、家を立てたので、台所が使いづらく生活しにくいとのことでした。

確かに男性って、ええかっこしいで見栄っ張りなところがありますよね。だから、女性の細やかな生活感覚を軽んじると大きな失敗をすることがあるんです。

これは市政にも通じます。大々的に、「大阪ミュージアム構想」とか「竜田古道と歴史とロマンの街」などと言われ、確かにスケールが大きくてかっこよく感じます。

しかしそれ以上に、商店街にシャッターの閉まった店が増えたことや、お年寄りに「暮らしにくくなった」とつぶやく姿が私には気になって仕方ありません。

ちょうど門構えばかり立派でも生活しにくい家のように、聞こえの良い事業に何億もの税金を投入して失敗するようになることには大変です。

市政にも、女性らしい細やかな生活感覚を、ぜひ生かしてほしいと思います。



パトロール

岡本市長の「暴言癖」の実態を知っている議員や市の職員は、最近の市長の心身の健康状態を心配している。岡本市長が公の場でおこなう演説や挨拶は、実に弁舌巧みで素晴らしい。しかし本紙でもたびたび報道している通り、議会や委員会では、自分を批判する発言などに気がいらなくなることがあると感情的になつて暴言を吐く。周りが心配しているのは、それが以前よりひどくなったように感じるからだ。昨年末から今年にかけて公務を休まれることもあれば、脳の病との噂も聞く。暴言を吐くだけでなく、委員会でもたしなめられると怒って出ていってしまうというのでは、まるで子供の行動だ。もしかしらば、ストレスゆえの奇行かもしれない。市長の心身の健康状態は確かに気がかりだ。課題が山積する柏原市。市長の激務が病にさわる。市ならば、その職をお譲りになるのが一番だ。季節柄、どうぞご自愛をお願いします。